

観光資源論 I

科目ナンバリング GGR-203
選択必修 2単位

飯塚 遼

1. 授業の概要(ねらい)

本講義は観光現象において必要不可欠な観光資源に関して歴史・文化・社会・経済など多面的な角度から議論するものである。とくに、観光資源と地域や文化との関係性に着目し、どのように観光資源が生み出され、発掘されているのか、あるいは観光者がどのようにそれらの観光資源を消費しているのかについて具体的な事例をもとに解説していく。「観光資源論 I」では、日本とヨーロッパの観光資源について、その利用のされ方の共通性や差異性を捉える。

2. 授業の到達目標

- ・観光資源とは何かを理解し、説明できる。
- ・観光資源の利用の仕方について解釈できる。

3. 成績評価の方法および基準

期末テスト70%
レポート30%

4. 教科書・参考文献

教科書
授業中に指示する。

5. 準備学修の内容

新聞やニュースで観光現象のトレンドをつかむことに加え、ガイドブックや紀行番組を普段から見しておくこと。

6. その他履修上の注意事項

講義に関係する発言や質問は歓迎するが、講義中の私語や雑談は厳禁である。

7. 授業内容

- 【第1回】 イントロダクション
 - 【第2回】 観光の歴史
 - 【第3回】 観光の基盤としての文化と自然
 - 【第4回】 ディズニーランドの観光学
 - 【第5回】 温泉地の観光学
 - 【第6回】 ヨーロッパの海岸リゾート
 - 【第7回】 日本の海岸リゾート
 - 【第8回】 ヨーロッパの都市観光
 - 【第9回】 日本の都市観光
 - 【第10回】 ヨーロッパの農村観光
 - 【第11回】 日本の農村観光
 - 【第12回】 ヨーロッパのフード・ツーリズム
 - 【第13回】 日本のフード・ツーリズム
 - 【第14回】 新しい観光のかたち
 - 【第15回】 まとめと期末テスト
- ※ 講義の受講者数や進行状況によって、計画が変更されることがある。